

## 平成29年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月25日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 アインホールディングス

コード番号 9627 URL <http://www.aini.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大谷 喜一

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務

(氏名) 水島 利英

TEL 011-814-1000

四半期報告書提出予定日 平成28年12月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年4月期第2四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成28年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第2四半期	116,844	9.3	5,049	△14.4	5,346	△12.1	2,855	△13.3
28年4月期第2四半期	106,924	21.2	5,901	39.5	6,084	36.7	3,295	30.5

(注) 包括利益 29年4月期第2四半期 2,905百万円 (△11.7%) 28年4月期第2四半期 3,290百万円 (25.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第2四半期	90.07	—
28年4月期第2四半期	103.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第2四半期	136,847	54,961	40.1	1,731.65
28年4月期	139,888	53,324	38.1	1,679.69

(参考) 自己資本 29年4月期第2四半期 54,906百万円 28年4月期 53,258百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年4月期	—	0.00	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	12.8	16,300	11.5	16,700	10.2	9,000	13.7	283.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年4月期2Q	31,888,212 株	28年4月期	31,888,212 株
29年4月期2Q	180,644 株	28年4月期	180,595 株
29年4月期2Q	31,707,568 株	28年4月期2Q	31,707,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年5月1日～平成28年10月31日)におけるわが国の経済は、個人消費の底堅い動きとともに、景気は、緩やかな回復基調で推移しておりますが、企業収益については、高い水準にあるものの足踏みをしております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aによる事業拡大をはじめ、都市型ドラッグストア事業を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が1,168億4千4百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益は50億4千9百万円(同14.4%減)、経常利益は53億4千6百万円(同12.1%減)となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億5千5百万円(同13.3%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (医薬事業)

平成28年4月の調剤報酬改定では、いわゆる門前薬局の評価が見直される一方、患者本位の医薬分業の実現に向けて、かかりつけ薬剤師・薬局となることが強く求められる内容となりました。

当社グループでは、引き続き、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮すべく、在宅対応を中心とした地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的管理の強化及びジェネリック医薬品の使用を促進しております。

営業開発においては、調剤薬局の新規出店及びM&Aを活用し、事業規模の拡大を推進しております。

本年11月には、全国にグループ全体で調剤薬局115店舗を展開する株式会社葵調剤(宮城県仙台市)の子会社化を決定し、地域医療のインフラとして、さらなる店舗網の充実を進めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,042億9千7百万円(前年同期比8.7%増)、セグメント利益は74億9千4百万円(同8.5%減)と増収減益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計47店舗を出店し、11店舗の閉店により、当社グループにおける薬局総数は917店舗となりました。

#### (物販事業)

ドラッグストア事業は、同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競合により、なおも厳しい市場環境が続いております。

当社グループでは、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」の出店を継続的に実施するとともに、既存店の改装及び関連商品を中心とするMDの強化による集客力向上に努めております。また、「リップス&ヒップス」及び「ココデシカ」を始めとするオリジナルブランドを積極的に展開することにより、粗利率は向上しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、102億8千8百万円(前年同期比1.8%増)、セグメント損失は3億8千4百万円(前年同期は1億8千3百万円の損失)となりました。

同期間の出店状況は、「アインズ&トルペ」の形態により、コレットマーレ桜木町B1店(横浜市中区)を出店し、2店舗を閉店したことで、ドラッグストア店舗総数は51店舗となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業における売上高は22億5千8百万円(前年同期比157.9%増)、セグメント損失は8億2千6百万円(前年同期は4億4千4百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より30億4千1百万円減の1,368億4千7百万円となりました。

主な要因は、新規出店及びM&Aによる事業規模の拡大に伴いたな卸資産が増加した一方で、売掛金が減少したことによるものであります。

負債の残高は、46億7千8百万円減の818億8千5百万円となりました。

短期及び長期借入金の残高は、8億2千万円減となる197億2千3百万円となりました。

純資産の残高は、16億3千7百万円増の549億6千1百万円となり、自己資本比率は2.0ポイント増加となる40.1%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ4億2千万円増の223億1千2百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益52億9千8百万円、減価償却費17億5千3百万円、のれん償却額16億6千万円を主な収入要因として、また、法人税の支払額46億6千6百万円を主な支出要因として、60億9千万円の収入(前年同期は92億2千1百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出15億4千4百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出22億9千3百万円を主な要因として、30億5千3百万円の支出(前年同期は61億1千7百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期及び長期の借入れと返済の差額が9億7千3百万円の返済となり、また、配当金の支払額12億6千8百万円を主な要因として、26億1千6百万円の支出(前年同期は81億5千7百万円の調達)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月27日発表の通期の業績に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,647,300	23,012,593
受取手形及び売掛金	12,385,821	7,214,813
商品	10,661,177	11,509,313
貯蔵品	323,473	314,608
繰延税金資産	1,149,432	1,107,321
短期貸付金	639,457	642,728
未収入金	5,983,629	7,508,888
その他	2,806,438	1,984,822
貸倒引当金	△3,337	-
流動資産合計	56,593,392	53,295,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,694,738	14,680,304
土地	9,537,493	9,525,982
その他(純額)	3,921,089	3,543,443
有形固定資産合計	28,153,320	27,749,730
無形固定資産		
のれん	33,337,372	33,776,445
その他	2,248,861	2,337,342
無形固定資産合計	35,586,233	36,113,788
投資その他の資産		
投資有価証券	2,677,643	2,565,978
繰延税金資産	2,038,851	2,163,596
敷金及び保証金	10,013,440	10,287,169
その他	6,062,530	5,449,101
貸倒引当金	△1,237,174	△777,244
投資その他の資産合計	19,555,292	19,688,602
固定資産合計	83,294,846	83,552,121
資産合計	139,888,239	136,847,211

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	39,987,595	37,693,599
短期借入金	5,690,001	7,584,837
未払法人税等	4,448,862	2,177,896
預り金	10,112,896	11,153,793
賞与引当金	1,633,520	1,984,297
役員賞与引当金	13,590	15,945
ポイント引当金	390,200	396,519
返品調整引当金	15,815	13,167
その他	4,452,428	3,687,689
流動負債合計	66,744,908	64,707,745
固定負債		
長期借入金	14,854,307	12,138,983
退職給付に係る負債	2,228,446	2,334,349
その他	2,735,964	2,704,181
固定負債合計	19,818,717	17,177,514
負債合計	86,563,626	81,885,260
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	6,367,844	6,367,844
利益剰余金	38,605,783	40,193,311
自己株式	△419,311	△419,598
株主資本合計	53,237,293	54,824,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63,296	13,222
退職給付に係る調整累計額	84,867	68,525
その他の包括利益累計額合計	21,570	81,748
非支配株主持分	65,748	55,668
純資産合計	53,324,613	54,961,951
負債純資産合計	139,888,239	136,847,211

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
売上高	106,924,364	116,844,279
売上原価	90,210,692	98,479,207
売上総利益	16,713,672	18,365,071
販売費及び一般管理費	10,812,265	13,315,707
営業利益	5,901,407	5,049,363
営業外収益		
受取利息	27,145	36,813
受取配当金	25,144	23,716
受取手数料	35,238	17,426
不動産賃貸料	84,280	106,635
業務受託料	96,099	69,839
受取補償金	157,022	39,408
その他	181,968	172,802
営業外収益合計	606,899	466,643
営業外費用		
支払利息	41,379	64,126
債権売却損	39,575	31,928
不動産賃貸費用	43,809	44,250
貸倒引当金繰入額	282,600	-
その他	16,767	29,363
営業外費用合計	424,133	169,668
経常利益	6,084,173	5,346,338
特別利益		
投資有価証券売却益	-	150,537
固定資産売却益	22,999	5,824
受取保険金	8,368	50,612
その他	2,772	28,118
特別利益合計	34,140	235,093
特別損失		
固定資産除売却損	167,018	241,243
減損損失	79,009	6,820
その他	46,597	34,586
特別損失合計	292,625	282,651
税金等調整前四半期純利益	5,825,688	5,298,780
法人税等	2,514,779	2,453,028
四半期純利益	3,310,909	2,845,752
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,406	△10,080
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,295,503	2,855,832



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)
四半期純利益	3,310,909	2,845,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,205	76,519
退職給付に係る調整額	12,958	△16,342
その他の包括利益合計	△20,246	60,177
四半期包括利益	3,290,663	2,905,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,275,257	2,916,010
非支配株主に係る四半期包括利益	15,406	△10,080

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,825,688	5,298,780
減価償却費	1,417,501	1,753,206
のれん償却額	1,339,030	1,660,995
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	70,809	89,011
賞与引当金の増減額(△は減少)	326,105	341,968
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	184	2,355
受取利息及び受取配当金	△52,290	△60,530
支払利息	41,379	64,126
固定資産除売却損益(△は益)	144,019	235,419
売上債権の増減額(△は増加)	△75,008	5,733,772
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,515,572	△651,501
未収入金の増減額(△は増加)	△521,028	△1,525,211
仕入債務の増減額(△は減少)	3,806,792	△2,918,279
その他	721,316	741,923
小計	11,528,927	10,766,036
利息及び配当金の受取額	50,576	56,772
利息の支払額	△40,967	△64,981
法人税等の支払額	△2,316,854	△4,666,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,221,681	6,090,841
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,427,422	△1,544,246
有形及び無形固定資産の売却による収入	192,595	304,258
投資有価証券の取得による支出	△4,467	△210
投資有価証券の売却による収入	244,773	339,729
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,131,659	△2,293,087
貸付けによる支出	△871,940	△60,001
貸付金の回収による収入	14,110	60,321
定期預金の預入による支出	△33,805	△43,430
定期預金の払戻による収入	73,771	235,706
その他	△173,426	△52,604
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,117,471	△3,053,564
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	11,732,426	2,257,210
長期借入れによる収入	10,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△2,282,003	△3,280,231
リース債務の返済による支出	△351,731	△375,300
自己株式の取得による支出	-	△286
配当金の支払額	△951,228	△1,268,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,157,463	△2,616,913
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,261,673	420,363
現金及び現金同等物の期首残高	19,389,097	21,892,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,650,771	22,312,543

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年5月1日 至平成27年10月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	95,940,867	10,107,600	875,896	106,924,364	-	106,924,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	155,311	155,311	△155,311	-
計	95,940,867	10,107,600	1,031,207	107,079,676	△155,311	106,924,364
セグメント利益又は損失(△)	8,193,917	△183,965	△444,421	7,565,530	△1,481,357	6,084,173

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,481,357千円には、全社費用が1,201,363千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が333,062千円、セグメント間取引消去が△53,069千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社5社ほか1社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,025,281千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年5月1日 至平成28年10月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	104,297,439	10,288,333	2,258,506	116,844,279	-	116,844,279
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	188,175	188,175	△188,175	-
計	104,297,439	10,288,333	2,446,682	117,032,454	△188,175	116,844,279
セグメント利益又は損失(△)	7,494,180	△384,611	△826,383	6,283,186	△936,847	5,346,338

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△936,847千円には、全社費用が1,696,461千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△735,544千円、セグメント間取引消去が△24,070千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社9社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,885,934千円であります。